

令和5年11月21日

指定管理者候補者の選定について（文化教養センター南部会館）

八戸市文化教養センター南部会館の指定管理者の公募を行った結果、2団体から応募があり、八戸市指定管理者選定委員会（観光文化スポーツ部）での審査を経て、下記のとおり指定管理者候補者を選定した。

1 対象施設

八戸市文化教養センター南部会館

2 指定管理者候補者

団体名：株式会社デーリー東北新聞社 代表者名：代表取締役社長 広瀬 知明

※指定管理者としての指定は、議会の議決を要件とすることから、令和5年12月市議会定例会での指定議案議決後に行うものである。

3 指定の期間

令和6年4月1日から令和11年3月31日まで

4 指定管理料の提案額（5年間分）

30,701千円（市が提示した上限額 30,701千円）

（現在の指定管理料（5年間分）30,474千円）

※ 主な増減理由：人件費、光熱水費及び施設管理業務に係る委託料の増

※ 今後、候補者と協議の上、指定管理料を決定するものである。

5 公募・選定の概要

(1) 選定までの経過

令和5年7月20日（木）	募集要項の公表
令和5年8月10日（木）	公募説明会・現地見学会
令和5年8月24日（木）～9月8日（金）	申請受付
令和5年10月2日（月）	指定管理者選定委員会の開催 ※ 書類審査及びヒアリング

(2) 応募団体数

2団体（内訳：株式会社(2)）

(3) 選定結果

当該指定管理者選定委員会（外部委員6名を含む9名で構成）において、選定基準に基づいて審査（採点）を実施した結果、株式会社デーリー東北新聞社が総合的に優れていると評価されたため、当該団体を指定管理者の候補者とした。（選定評価表は別紙のとおり。）

八戸市文化教養センター南部会館指定管理者候補者の選定評価表

別紙

選定基準（配点）	満点	指定管理者候補者 （株式会社 デーリー東北 新聞社）	指定管理者候補者の提案に対する評価内容	三八五交通 株式会社		
① 市民の平等な利用が確保される ものであること (10点)	80点	65点	・施設の設置目的及び管理の基準を理解しており、適切な運営が期待できる。 ・表門が文化財であることを理解しており、適切な管理が期待できる。	58点		
② 公の施設の効用を効果的に発揮 させるものであること (30点)	240点	196点	・事業計画書の内容が、具体的・現実的で、かつ創意工夫や積極性があり、利用者に対するサービスの向上が期待できる。 ・施設利用の拡大に向けた宣伝・広報活動が適切である。（新聞広告、ホームページでの周知等） ・既存施設を活用した自主事業について、既存の事業に加え新規の提案が盛り込まれており、利用者の増加が期待できる。	171点		
③ 管理に要する経費の縮減を図る ものであること (10点)	80点	58点	・人件費及び委託費の削減等、管理経費の縮減を図る提案がなされている。	53点		
指定管理料基準額及び提案額（5年間）／単位：千円		基準額：30,701 提案額：30,701		基準額：30,701 提案額：28,194		
④ 管理を安定して行う能力を有するもの であること (30点)	240点	192点	・緊急時の対策、トラブルに対する対処方法が適切である。 ・南部会館の運営を熟知した経験者など、管理運営に関する人的体制が整っている。	190点		
⑤ 市の重要施策が推進されるものである こと（一律加点） (5点)	40点	16点	・本部・本社等の所在地が八戸市内にある。 ・応募団体の八戸市内における定期的な地域貢献計画がある。	40点		
⑥ 市の文化施策が推進されるものである こと (15点)	120点	96点	・第7次八戸市総合計画やはちのへ文化のまちづくりプランを踏まえ、伝統文化の保存継承、中心市街地に立地する他の文化施設との連携、学校連携事業などの提案が盛り込まれており、市の文化施策の活性化に資する取組みが期待される。	84点		
合計点 800点（委員8人×100点） ※	800点	623点		596点		

※委員9名の内、1名欠席